



**保護者の皆様、地域の皆様、今年度も1年間、
本校へのご理解・ご支援・ご協力を賜り、
誠にありがとうございました！
来年度もよろしくお願いいたします！**



先日、卒業式を終えたばかりかと思えば、はやくも今年度の修了式を迎える日が来ました。年齢を重ねるごとに月日の過ぎるスピードが加速すると言われますが、つくづく実感している今日この頃です。

さて、今年度を振り返ると、子どもたちも先生方も共に成長した一年であったように思えます。

学校では年間をとおして、ポイントとなる行事や出来事があります。体育大会や文化祭、3年生は修学旅行、2年生は宿泊研修など、日常の学校生活にいろいろな意味で「刺激」になる活動を組み込んでいます。

先日、3年生の高校入試の面接練習として、私は模擬の面接官を務めました。そこでの「中学校での一番の思い出を教えてください」という問いに対して、多くの子がソレらを返答しました。

もちろん、大きな行事への取組によって育成された資質・能力はあるでしょうが、重要視すべきは、その育成を支えているのが、日常の授業であるということです。毎日の300分(50分×6校時)の学びあつての「主体性・思考力・協調性」の向上です。

今年度、特に顕著だったのは、3年生でした。

子どもが仲間同士の関係性を形成するのは、小学校3～5年生頃であると言われており、それをギャングエイジと言います。ウチの子たちがそのギャングエイジを迎えた当時、得体のしれない感染症の驚異によって、全国一斉に学校での教育活動がストップしました。私のように昭和を生きてきた世代がイメージする「みんなで一つに！」のような関係性の構築は、当然今の中学生にとって相当ハードルの高いことでした。

ましてや今の時代、多様な価値観や個性、ダイバーシティー(性別、年齢、国籍、障害、性的指向、宗教などの外見的・内面的な違いを認め合う状態)が尊重される時代です。以前のような「多数決で決定」や「一致団結だー！」など、個性を埋没させるような学校での教育活動から、「個別最適な学び」と「協働的な学

び」の一体化に変換していくべきである！と、文科省が強く、強く、現場に対して提唱しています。

また、テストの点が全国平均よりも高いことは相当大事なのでしょうが、私たち教育者が見失ってはいけないのは義務教育の目的です。「社会生活に必要な資質・能力を身に付けさせること」です。「よみ・かき・そろばん」の定着はもちろんですが、多様な価値観をもつ人々と社会生活を円滑に行うためのコミュニケーション力を向上させることまでが目的です。

その観点から鑑みると、先日卒業していった58名は、コロナ禍の影響によって「逆境」はあったものの、その壁を越えて、先生方と共に集団としての成長を見事に果たしました。お互いの個性を尊重し、違いの排除ではなく受容する教室を築くため、多くの子が自分なりの改善と寛容を図って巣立っていきました。

さて、今後は在校生にもそのような資質・能力を身に付けさせつつ、望ましい集団を築き、卒業時には「羽中でよかった！」と思えるような『学び』を提供していかなければなりません。私たち教職員一同、新年度に向けての組織的な取組を強固にしていきます。

改めまして、保護者の皆様、地域の皆様、今年度も1年間、本校へのご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました！来年度もよろしくお願いいたします！

4月1日以降、本校のHPにて令和8年度の学級担任や教科の担当者などを公開いたします。

つきましては、お子さんの学校生活や学習などにおいて、ご心配なことや事前に確認しておきたいことなどがございましたら、春休み中にも、ご連絡ください。平日であれば教職員は出勤しておりますので、学級担任や教科担当者などに、お気軽にご相談ください。(勤務時間 8:05~16:35)

※ご都合により勤務時間外になる場合は事前にご相談ください。

羽幌中学校 ☎ 0164-62-1055

ホームページ

<https://haboro-jhs.edumap.jp/>



WELL-BEING **しあわせ**がわかる**ガッコウ**

校 訓 自 学 自 律 協 力

今年度の
学校目標学びを求める
羽中生言動を律する
羽中生仲間と伸びる
羽中生学校づくりは
学級づくり
から誰もが学びの
主体者になる学級集団の課題に気づき
自ら解決を図る学級仲間を敬い協働的な
活動ができる学級

心理的安全性

寛容的で安心感のある「学級風土」がすべての礎

来年度の学校教育目標は上記のとおりとします。これは、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において承認されております。

以前から掲げられていた校訓の「自学・自律・協力」が、今年度の振り返りからの課題に合致していることもあり、この校訓をベース

に個人目標（学校目標）と集団目標（学級づくり）に反映させました。主に「自ら学ぶ」「自身を律する」「他者を敬う」が個人の姿、「心理的安全性の向上」が集団の姿です。最も長く過ごす授業時間300分を核として、あらゆる教育活動において目標達成に取り組みます。

なお、昨今の教育課題が複雑化、多様化していることから、ご家庭にも具体的なご協力をお願いする所存です。この目標がいわゆる「絵に描いた餅」にならないよう、学校と家庭とで同じゴールを目指し、共にチカラを合わせて子どもの成長を支えましょう。



山形 勉 教頭

留萌市立
港南中学校 教頭

この春、5名が羽幌中学校からお別れすることになりました。羽中での在職中は、保護者、地域の皆様からの温かいご支援を賜り、感謝しております。お世話になりました。ありがとうございました。

転出者・退職者一同より



中内 孝 教諭

退職（60歳）

中内教諭は本校を皮切りに、他校への赴任と本校への着任(3回)を繰り返し、計20年間羽中に勤めました。その間、教わった今の保護者や地域の方もいるのでは…？今年60歳を迎えたことで、3月末に退職することになりました。長い間、お疲れさまでした！



米倉大輔 教諭

北海道
留萌高等学校 教諭

西 勇気 教諭

天塩町立
天塩中学校 教諭

船木崇平 教諭

増毛町立
増毛中学校 教諭

羽幌中での思い出をいつまでも忘れずに！

皆様のご活躍を祈念いたします！